

取扱説明書 初版

エンジン乗用芝刈機・草刈機

YS-SK9950 (集草袋付)

YS-SK9950K

燃料 無鉛レギュラーガソリン

★公道は走れません。

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、内容を理解してからお使いください。



※写真は YS-SK9950



YS-SK9950

WEB でチェック！

最新の取説及び本製品の操作の仕方などをご覧いただけます。



YS-SK9950K

目次

はじめに	3	運転操作の仕方	22
安全上のご注意	3	エンジンのかけ方	22
製品を長くご愛顧いただくために	3	エンジンの止め方	23
安全にお使いいただくために	4	作業の仕方	24
乗用芝刈機・草刈機に係る安全事項	4	芝刈り・草刈り作業	24
乗用芝刈機・草刈機の作業に係る安全事項	5	刈取りパターン	25
安全ラベル	6	傾斜面での芝刈り・草刈り	26
各部の名称	8	起伏の多いところでの芝・草刈り	26
主要諸元	9	刈込み中に減速、停止したら	26
梱包部品一覧	10	芝・草の処理について	27
組立て	11	作業の終了	27
ハンドルの取付け	11	運搬、輸送について	28
シートの取付け	11	トラックへの積み込み・積み降ろし	29
横排出ガイドの取付け	12	点検・整備の仕方	30
集草袋の組立て	13	燃料の抜き方	30
集草袋カバーの取付け	15	エンジンオイルの交換	30
排出口の取付け	16	エアクリナーの清掃	31
集草袋の取付け	17	点火プラグの点検・整備	32
バッテリーの配線	17	バーナイフの交換	32
取扱	18	回転刃（ハンマーナイフ）の交換	33
セルスターター	18	ベルトの点検	34
刈高調整レバー	18	バッテリーについて	35
ブレーキ・クラッチペダル	18	長期間使用しないとき	36
パーキングブレーキ	18	困ったときの対処法	37
チョークレバー・エンジンスロットルレバー	19	保証内容について	39
刈刃クラッチレバー	19		
走行変速レバー	19		
安全装置	19		
運転前の点検	20		
ブレードの点検	20		
燃料の給油	20		
エンジンオイルの給油	21		
エアクリナーの点検	21		
集草袋の点検（HG-SK9950）	21		
各部の緩みやガタツキの点検	21		

はじめに

このたびはエンジン乗用芝刈機・草刈機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。また故障に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

乗用芝刈機・草刈機に係る安全事項



警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- 可動している部分の近くに手または足を入れしないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- 改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 運転中に回転部及び可動部（シャフト・ブレード・ベルト・プーリー等）に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 運転中は絶対排出口をのぞき込んだり足を出したりしないでください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



指示

- 本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- 自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- 給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- 給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- 燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- 燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- 運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- 点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- 運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。
- エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- 点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- 始動前点検を実施してください。
- 急傾斜地では使用しないでください。
- 舗装地、砂利、その他硬い地面で使用しないでください。

安全にお使いいただくために

乗用芝刈機・草刈機に係る安全事項



注意

 禁止	指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 燃料はレギュラーガソリンを使ってください。• 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。• 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。• 部品交換は、純正部品を使用してください。• 本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。

乗用芝刈機・草刈機の作業に係る安全事項





警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 本機は、公道での走行は絶対に行わないでください。道路上の走行による事故及び違反につきましては責任を負いかねます。• 身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。• 動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。• ご使用時は、使用者から 12m 内は危険です、人や動物がはいらぬようにしてください。• 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。• 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本製品を再始動しないでください。• 土や砂利道の上でブレードを回転させないでください。• 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。• 安全のためのカバー類はもとより、標準装備されている安全装置及び関連部品を外したまま運転を行わないでください。• 勾配 10° 以上での傾斜地作業やトラック積載用ブリッジ（ラダー）の勾配が 15° を超えると大変危険ですので、行わないでください。• 河川や崖に向かっての作業は行わないでください。転落に危険があります。• 転倒しやすい場所では使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 適切な時期に休憩をとってください。• 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。• 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。• 持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜きとってください。• 本機を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人以上で行ってください。• 本機をトラックなどに積み降ろしする際は、ラダーを使用してください。吊り下げ等ではフレームが変形する恐れがあります。• 移動するときは、ブレードの回転を止めてください。• 事前に、作業範囲内の石、木片などの異物を取り除いてください。• 作業前に集草袋に穴や擦り切れがないか点検してください。• 作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、ブレードに異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。• ブレードの脱落は大変危険です。ボルト、ナットはしっかり締めてください。また、破損したブレードは新品に交換してください。

安全にお使いいただくために

⚠️ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。 ・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ・パーキングブレーキの効き具合を毎回必ず確認してください。 ・傾斜地では一定の速度を保ち、不要な変速レバーの操作は行わないでください。スリップ、転落、転倒、滑落等の危険があります。 ・傾斜部と平坦部との境目を走行すると、路肩崩れや転倒の危険があります。平坦地を走行してください。 ・長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。 ・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。 ・シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。 ・定期点検整備を行ってください。 ・本機を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

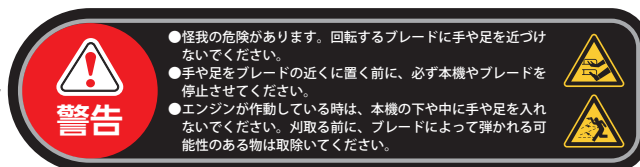
安全ラベル ※安全ラベル添付位置は、実際と異なる場合があります。

⚠️ 警告

回転するブレードは、死亡または重傷を引き起こす可能性があります。必ず注意事項を守り指示に従って安全にご使用ください。



- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 取扱説明書は必ずお読みください。 ● 本機の機能と各部の操作方法を理解してからご使用ください。 ● 子供に操作させたり、子供を同乗させて運転をしないでください。 ● 見物人に近づかないようにしてください。 ● 急ハンドル、急ブレーキはしないでください。転倒し危険です。 ● 前進、後進する前に必ず周りを確認してから操作してください。 ● 飲酒運転は絶対にしないでください。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 安全装置を絶対に無効にしたり、改造をしないでください。 ● エンジン始動している時は、絶対に手や足を刈刃の周りに入れないでください。 ● エンジン始動している時は、排出口を覗き込まないでください。 ● 急傾斜地、舗装地、砂利地等では使用しないでください。 ● バックをする際は、必ず下側と後ろを確認してください。 ● 運転前に各部の点検を行ってください。 |
|--|--|



安全ラベル ※安全ラベル添付位置は、実際と異なる場合があります。

警告

誤った操作をすると、死亡や重症の可能性があります！

- 坂の横断はしないでください。転倒の恐れがあります。
- 10° を超える急勾配は避けてください。
- 安全装置は絶対に無効にしないでください。
- 本機から離れる前に、必ずブレードを停止し、パーキングブレーキをかけ、スイッチを切ってキーを抜いてください。
- 回転部に手や足を絶対に近づけないでください。
- 本機は、滑ったり倒れる恐れのある場所では使用しないでください。
- 急なターンは避けてください。
- 操作と機能をすべて把握してから作業を行ってください。
- 上り坂の途中で本機が止まったら、ブレードを停止し後方確認し、ゆっくり後進してください。

エンジンオイルの適正量



● エンジンオイル：SAE5W-30
● オイル容量：約 1.0L

適正量はオイルキャップをしっかりと閉めた時のゲージの中央です。

注意

- エンジンオイルを入れすぎると
 - ・ エンジンがかかりにくくなる
 - ・ 白煙が出る
- エンジンオイルが少なすぎると
 - ・ 斜面でエンジンが止まる

警告

エンジン周り堆積した芝や草等はきれいに取除いてください。火災の原因になります。



エンジンルーム内



注意

踏みつけ厳禁!

燃料タンク

無鉛レギュラーガソリン 容量：4.2L

警告

- ガソリンは引火性と爆発性が高い危険物。
- 給油の前には、エンジンを切って冷やす。
- エンジンは有毒な一酸化炭素を排出するので 密閉された場所では使用しない。
- 燃料の臭いがある場合、運転不可。爆発の危険がある燃料の漏れが見受けられたら、使用しない。
- エンジンが熱いうちは、給油しない。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけない。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させない。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行う。
- 給油時、燃料タンクの給油口ギリギリまで給油しない。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがある。
- 取扱説明書は必ず読む。

注意

- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しない。
- 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取る。
- 燃料タンク内に雪や水が入らないようご注意ください。
- 30 日以上長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管する。

危険

火気厳禁
給油時はエンジン停止。火災の危険あり。給油口に火を近づけないこと。

警告

排ガスに注意
室内や換気の悪い場所での運転は、ガス中毒の危険があります。

注意

マフラー高温注意
マフラーに触れるとやけどをする恐れがあります。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

※写真は YS-SK9950



※写真は YS-SK9950K



主要諸元

	YS-SK9950	YS-SK9950K
モデル名		
主な用途	芝刈り	草刈り
エンジン形式	ロンシンエンジン 1P92F-1	
エンジン馬力	16HP	
総排気量	452cm ³	
駆動	自走式後輪駆動	
始動方式	セルスターター	
刈高	約 20 ~ 90mm、6 段調整可能 ※水平にしたボディの一番低い位置です。	刈取り可能高さ 約 700mm ※草の条件により異なります。
刈幅	760mm	
刈面積	1 時間当たり約 360 坪 (約 1190m ²)	
排出方法	背面から集草袋に収集 / 横排出	横排出
集草袋容量	170L	-
タイヤ	前タイヤ 12 インチ ノーパンクタイヤ、後タイヤ 15 インチ チューブレスタイヤ	
タイヤ空気圧	0.98-1.4kgf/cm ² (98-140kPa)	
走行調整	5 段前進、1 段バック、1 段停止	
走行スピード	前進 1.3 ~ 8km/h 後進 3km/h	
ブレード	バーナイフ	回転刃 (ハンマーナイフ)
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	4.2L	
燃費	1L 当たり約 45 分 ※使用状況により異なります。	
エンジンオイル	SAE10W-30	
エンジンオイル容量	約 1.2L	
バッテリー	鉛酸バッテリー 12V 24Ah	
騒音	100dB	
互換点火プラグ	BKR5ES(NGK)	
耐荷重	90kg	
重量	176.1kg	159.92kg
サイズ (幅×奥行×高さ)	850 × 1960 × 1150mm	850 × 1550 × 1150mm

◎弊社は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

梱包部品一覧

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体 	B. ハンドル 	C. 横排出用ガイド 	D. シート 
E. バッテリー配線部品 		F. シート固定部品 	G. エンジンキー 

★以下の部品は、乗用草刈機 YS-SK9950K には付属しません。

I. 集草袋 	J. 集草袋取付プレート 	K. 集草袋カバー 	L. 集草袋用骨組み① 
M. 排出用チューブ① 	N. 集草袋パーツ① 	O. 集草袋パーツ② 	P. 集草袋用骨組み② 
Q. 排出用チューブ② 	R. 排出用チューブ取付部品 	S. 集草袋レバー 	T. 集草袋レバー取付部品 
U. 集草袋取付部品① 	V. 集草袋取付部品② 	W. 集草袋取付部品③  <p>W-1 W-2 集草袋カバー取付用</p>	X. 割りピン  <p>X-1 X-2 集草袋レバー取付用 集草袋カバー取付用</p>

※製造時期により部品の形状が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

組立て

⚠ 注意

- 説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- 作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- 重量物の運搬は、2人以上で行ってください。
- 組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- 平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。

ハンドルの取付け

- 1 タイヤを真っ直ぐにします。



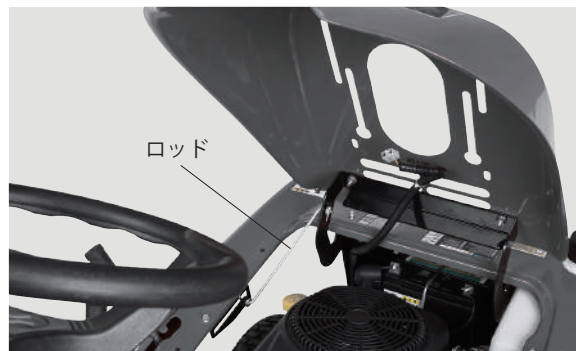
- 2 ハンドルの軸をコンソールに挿入します。その際、ハンドルの向きに注意し真っ直ぐにカチッと音がるまで挿入します。

※一度挿入むと抜きづらい仕様になっているのでハンドルの向きに注意してください。

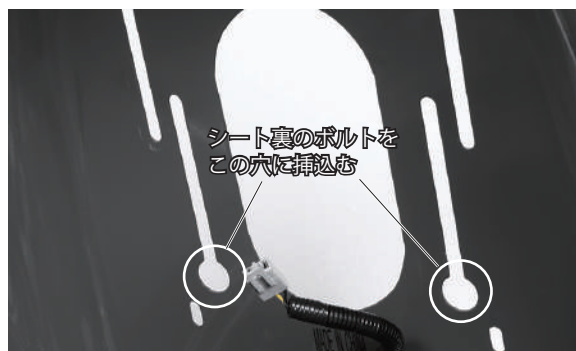


シートの取付け

- 1 シートサポートを開け、ロッドで固定します。



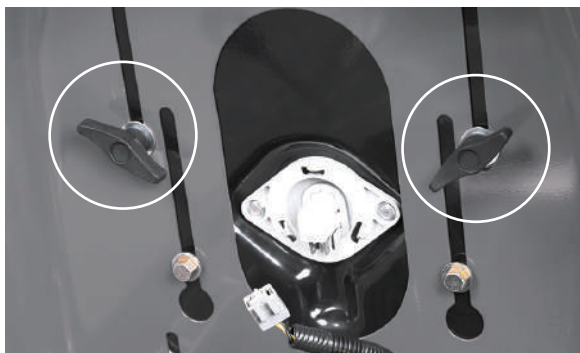
- 2 シート裏の取付けボルトと、シートサポート穴の位置を合わせ挿入します。



組立て



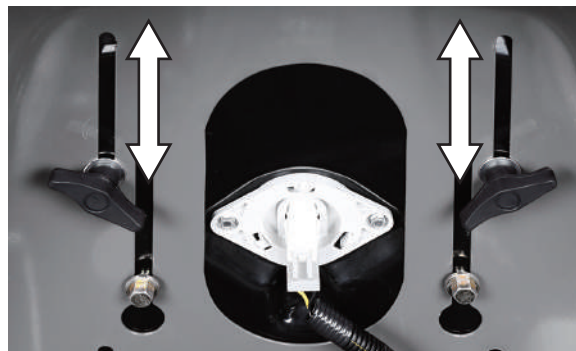
- 3** ノブボルトにワッシャを通し、裏側からシートの取付穴に仮留めします。



- 4** 安全装置コネクタをシートソケットに挿込みます。

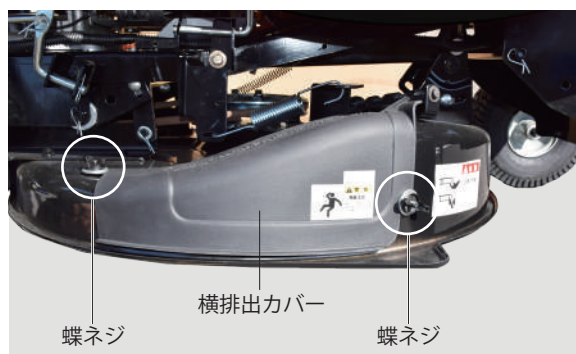


- 5** 運転操作がしやすい位置にシートを合わせ、蝶ノブボルトでしっかり固定します。

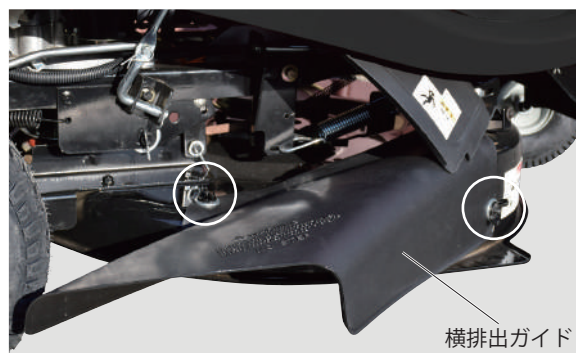


横排出ガイドの取付け

- 1** 2カ所の蝶ネジを一旦取外し、カバーを開けます。



- 2** 横排出ガイドをセットし、蝶ネジを締めます。
※使用中振動で緩みやすくなりますので、適宜増し締めをしてください。

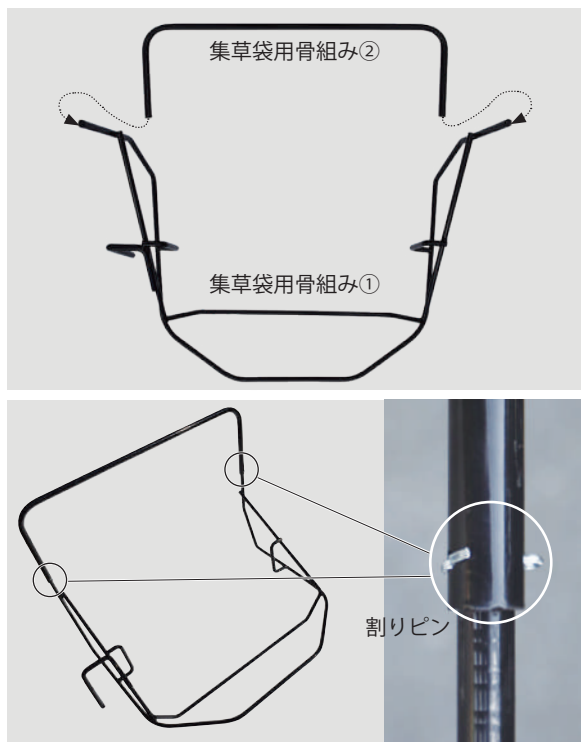


組立て

★乗用草刈機 YS-SK9950K は P.17 「集草袋の取付け」まで飛ばしてください。

集草袋の組立て

- 1** 集草袋用骨組み①に集草袋用骨組み②を挿込み、割リピンで固定します。



- 2** 集草袋のハトメに骨組みのL字型の部分を通します。



- 3** 集草袋を骨組みに取付けて行きます。



- 4** 集草袋のL字部分にレバーを挿込み、付属のボルト、ナットで固定します。



組立て



5 本体後方の下側のボルトを取外します。



6 付属の集草袋取付部品のノブ、ナット、ワッシャを一旦取外します。



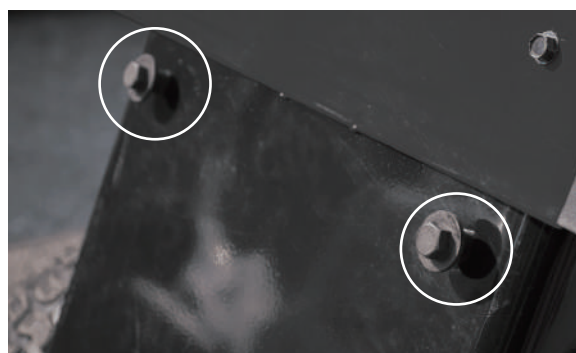
7 手順5で取外した穴にボルトをねじ込みます。



8 ボルトにワッシャを通します。



9 本体後方の上側の穴に付属のボルト、ワッシャ、ナットを取付けます。(仮留め)



組立て

- 10** 上記で取付けたボルトに集草袋取付プレートを引き掛け、ノブナットを取付け締め付けます。(締めすぎに注意)上側のボルトも締め付けます。

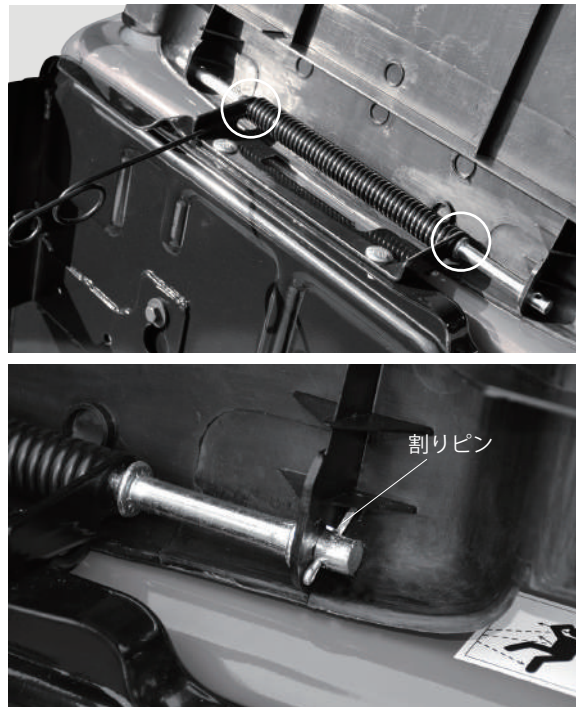


- 11** 集草袋取付プレートに集草袋パーツ②、集草袋パーツ①を集草袋取付部品②のボルト、ワッシャ、ナットで取付けます。

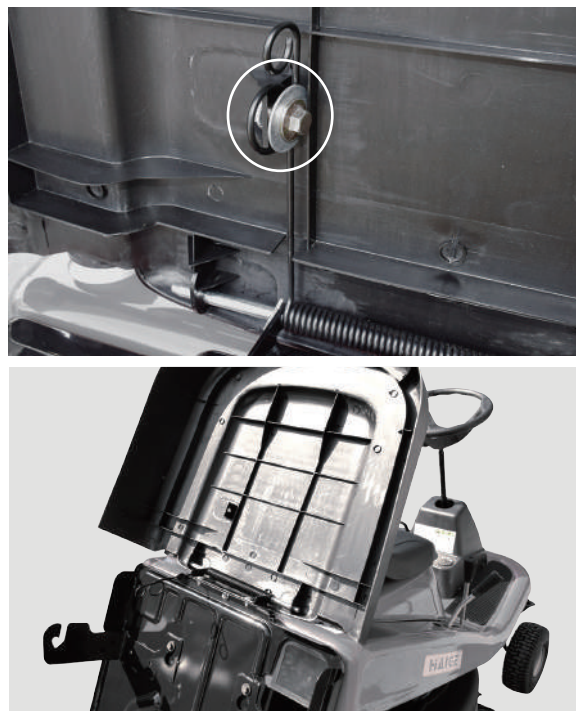


集草袋カバーの取付け

- 1** 集草袋取付プレートのバーを、集草袋カバーの取付穴に通し、割りピンで固定します。



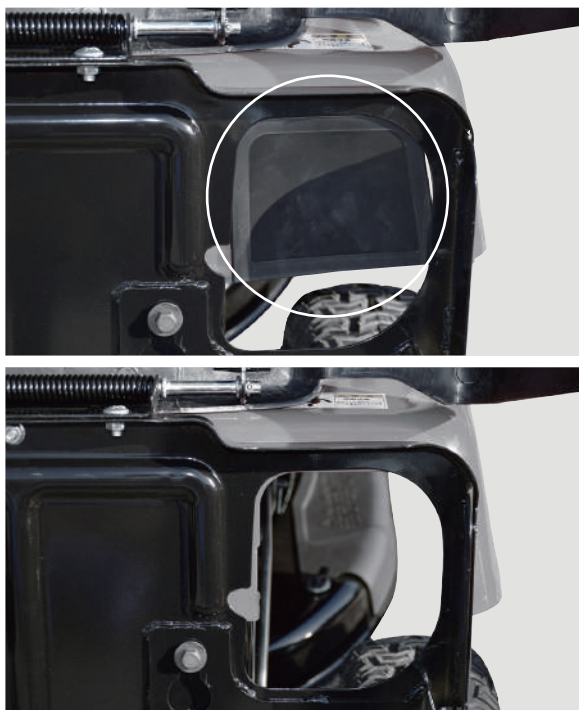
- 2** スプリングとカバーをボルト、ワッシャ、ナットで固定すればカバーの取付けは完了です。



組立て

排出口の取付け

- 1** 集草袋取付プレートの排出口カバーを取外します。



- 2** 排出用チューブ②を集草袋取付プレートの排出口に挿入します。



- 3** 排出用チューブ②に排出用チューブ①をはめ、付属のボルト、ナットで固定します。



- 4** 2カ所の蝶ネジを一旦取外し、カバーを開け、排出用チューブをセットし、蝶ネジを締めます。



組立て

集草袋の取付け

- 1 集草袋のバーを集草袋取付プレートのフックに取付けます。引っ掛ける感じです。



- 2 集草袋の取付け完了です。



バッテリーの配線

- 1 シートサポートを開け、バッテリーターミナル付近のケーブルを取出します。



- 2 赤色のケーブルを「+」ターミナルに接続し、蝶ナットでしっかり固定しカバーを被せます。(必ず+から行ってください。)



- 3 黒色のケーブルを「-」ターミナルに接続し、蝶ナットでしっかり固定します。



取扱い

セルスターター

セルスターターを「START」まで回すとエンジンが始動します。「STOP」に戻すと停止します。



⚠️ 注意

セルスターターは連続で回さないでください。故障の原因になります。

刈高調整レバー

レバーを操作することで刈高を6段階調整が可能です。



👉 ワンポイント

刈りたい高さよりも高い位置からはじめ、徐々に刈高を下げていくことがきれいに刈れるコツです。

⚠️ 注意

はじめから刈高を低くすると、芝や草が詰まったり、ベルト類に負荷をかけてしまいベルト切れや破損の原因になります。

ブレーキ・クラッチペダル

ペダルをいっぱい踏み込むと停止します。

前進する場合は走行変速レバーを「1～5」または「R」に合わせ、ペダルを一旦踏み込んでからゆっくりペダルを放すと前進または後進します。



パーキングブレーキ

ブレーキ・クラッチペダルをいっぱい踏み込み、パーキングブレーキレバーを引張り上げた状態で、ペダルをゆっくり放すとパーキングブレーキがかかります。パーキングブレーキの解除時は、ブレーキペダルをいっぱい踏み込みます。



取扱い

チョークレバー・エンジンストップレバー

エンジンが冷えているときは、レバーをチョークマークに合わせます。

レバーを少し戻すと「高速（うさぎマーク）」エンジンの回転が高くなり、「低速（かめマーク）」に合わせると、低くなります。

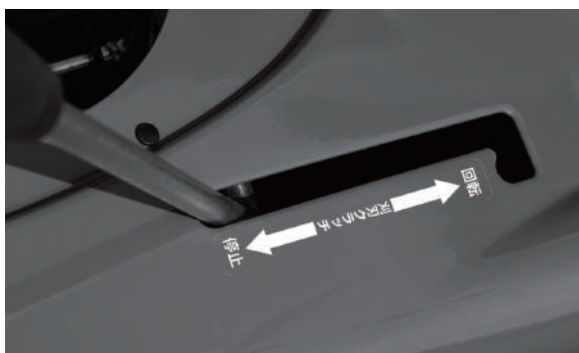
⚠️ 注意

チョークマークの位置で運転をしないでください。燃料かぶりになります。



刈刃クラッチレバー

刈刃を駆動するには、レバーを「回転」の位置に合わせます。エンジンをかけるときや移動時は、レバーを「停止」に合わせます。



走行変速レバー

前進する場合はレバーを「1～5」に合わせます。数字が大きくなるほどスピードが出ます。

後進する場合は「R」に合わせます。「N」はニュートラルです。



安全装置

シートから離れるとエンジンが停止する仕様となっています。

また、シートに着座しないとエンジンはかかりません。その際、深く腰掛けないとエンジンはかかりません。



⚠️ 警告

安全装置を改造や無効にしないでください。

運転前の点検

警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



指示

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。こぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料を給油口いっぱいまで給油しないでください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



指示

- ・燃料給油キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

ブレードの点検

ブレードに、割れ、曲がり、磨耗など異常がないか確認します。

■ブレードの点検手順

- 1 横排出カバーを開け、ブレードを目視し、割れ、曲がり、磨耗など異常があれば新品と交換します。



■刃取付ナットの点検

- 1 ブレードを揺らし、ガタツキや緩みがないか確認します。
- 2 ガタツキや緩みがある場合は、そのまま使用せずに修理を行ってください。(P.32 参照)

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。

下記要領で給油してください。

古い燃料は絶対に使用しないでください。

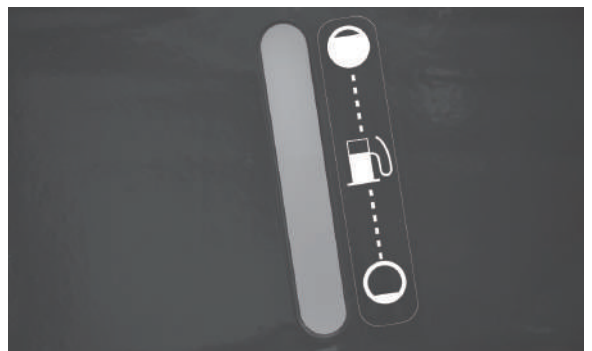
- 1 燃料を準備します。

使用燃料	自動車用無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	4.2L

注意

古い燃料は使用しないでください。

- 2 燃料タンクキャップを外し、ボディ横の窓を見て残量を確認し、少ないときは上限の位置まで補給します。



- 3 給油が終わったら燃料給油キャップをしっかりと閉めます。

運転前の点検

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていますが、量は必ずご確認ください。

- 1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約 1.2L

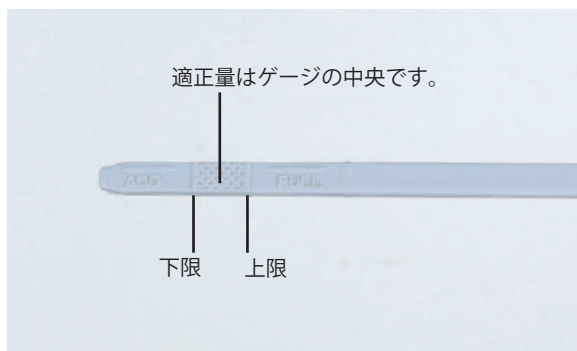
- 2 本体を水平な場所に移動させます。
- 3 オイル給油キャップを取外し、オイルゲージを布などで拭取ります。



⚠ 注意

エンジンオイルを入れ過ぎると、エンジンはかかりにくくなります。

- 4 オイル給油キャップを一旦締付け、再度外します。
- 5 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)までであるか点検します。



- 6 確認後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。
- 7 使用 2 回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

エアクリーナーの点検

エアクリーナーのフィルタの汚れを確認します。汚れたままだとエンジンがかかりません。(点検方法は P.31 参照)



集草袋の点検 (HG-SK9950)

刈取った芝が集草袋の外に飛び出さないか点検します。

- 1 破れ、ほころびなどが無いことを確認します。
- 2 集草袋が確実にセットされていることを確認します。



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

運転操作の仕方

警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻込まれ重大な事故の恐れがあります。



指示

- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止してください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。

注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

警告

エンジンをかける前に必ずブレードに、割れ、曲がり、磨耗などの異常、緩みがないか確認します。そのまま使用しますと、ブレードが飛び出すなど重大な事故や故障の原因になります。

エンジンのかけ方

シートに深く腰掛けないとエンジンはかかりません。

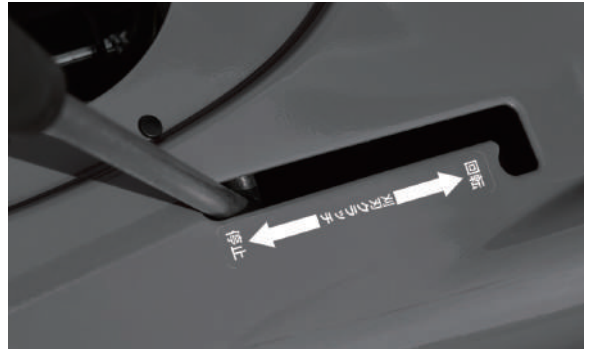
- 1** ブレーキ・クラッチペダルを踏み込みます。



- 2** 走行変速レバーを「N」の位置にします。



- 3** 刈刃クラッチレバーを「停止」の位置にします。



- 4** エンジンが冷えているときは、エンジンスロットルレバーをチョークマークに合わせます。



- 5** エンジンが暖まっているときや再始動時には、エンジンスロットルレバーを「中速(うさぎマークとかめマークの中心)」に合わせます。

運転操作の仕方

- 6** 刈高調整レバーは一番高い「6」にします。



- 7** エンジンキーを「START」まで回し、始動したら直ぐに放します。

6秒以内でエンジンがかからないときは、少し時間をおいてから再始動してください。



⚠️ 注意

セルスターターは連続で回さないでください。故障の原因になります。

- 8** エンジンスロットルレバーを「低速(かめマーク)」に動かし、暖機運転を数分行います。異常音、振動などが無いことを確認してください。



- 9** 暖機運転後刈高を調整し、エンジンスロットルレバーを「高速(うさぎマーク)」に動かし芝刈り・草刈り作業を行います。

エンジンの止め方

- 1** エンジンスイッチを「STOP」まで回すと停止します。



- 2** シートから離れるとエンジンは停止します。



👉 ワンポイント

シートサポートを開けると、安全装置があります。この安全装置が押される（座る）ことでエンジンがかかり、離れる（立ち上がる）ことで安全装置が働き、エンジンが止まる仕組みです。

- 3** 本機から離れるときは、必ずエンジンキーを抜いてください。



作業の仕方

警告



禁止

- 身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- ご使用時は、使用者から 12m 内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 髪の毛、衣服等を回転部分に近づけないでください。



指示

- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止して運搬してください。
- 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- 長い髪は束ねて帽子などでカバーしてください。

芝刈り・草刈り作業

上手な芝・草刈りの仕方

■徐々に刈高を下げる

芝生の場合、日をおいて徐々に刈高を低くすることで、芝生を傷めずにきれいに刈れます。その際、毎回刈る方向を変えて重ね刈りすることできれいになります。草刈りの場合も、刈高を高くし、徐々に低くすることで、無理なく刈れ、機械にも負荷をかけません。

■刈るスピードはゆっくり

速すぎるときれいに刈れません。また、詰まりやすくなります。

■濡れた芝生・草は刈らない

濡れた芝生・草は刈れません。乾いてから芝生・草を刈ってください。濡れた芝生・草を刈ると刈刃ハウジングや排出チューブ等の内側に張り付き、詰まります。

注意

- 本機を刈られていない背の高い草に無理に押し込まないでください。破損の原因になります。
- 石、針金や紐類は取除いてください。
- 石やレンガの壁、縁石、樹木に本機を当てると、破損する恐れがあります。

- 1 ハンドルの位置が真っ直ぐになっているか確認します。

注意

ハンドルを切った状態で発進しないでください。タイヤ、車軸、本体に負荷がかかり破損の原因になります。



- 2 ブレーキ・クラッチペダルを踏みながらエンジンを始動します。(エンジンのかけ方は P.22 参照)



作業の仕方

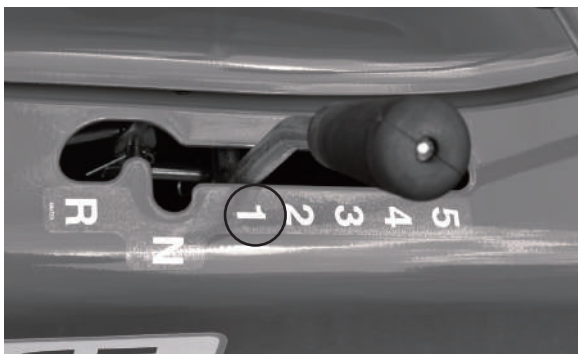
3 刈高調整レバーで刈取りたい高さより高い位置に調整します。



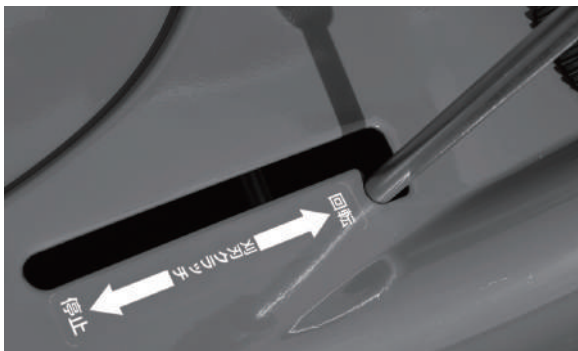
4 エンジンスロットルレバーを「低速(かめマーク)」の位置に合わせます。



5 走行変速レバーを1速にします。



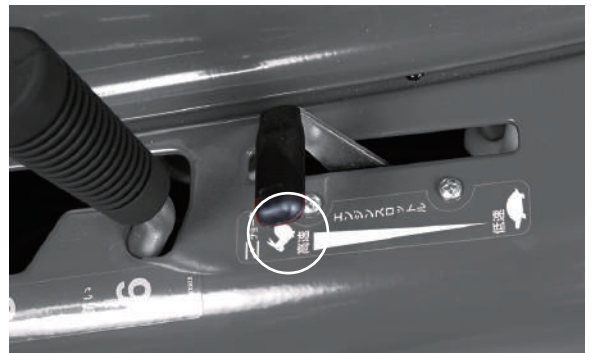
6 刈刃クラッチレバーをゆっくり「回転」の位置に合わせます。



7 ゆっくりブレーキ・クラッチペダルを放します。



8 エンジンスロットルレバーを「高速(うさぎマーク)」の位置に合わせます。



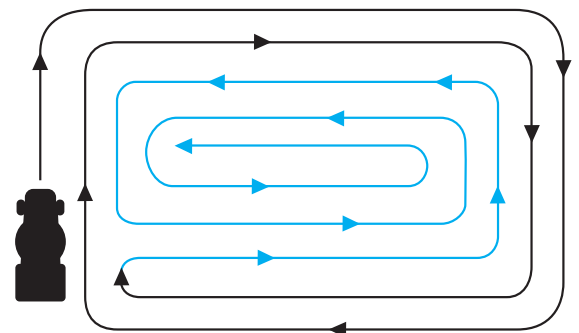
9 芝刈り・草刈り作業を行います。

⚠️ 注意

- ・エンジン音が途中で変わったら芝や草が詰まっている可能性があります。一旦エンジンを切り確認をしてください。
- ・作業中、急に本体下の方から「キュルキュル」という音や白煙が出たらすぐにエンジンを停止してください。芝や草が詰まり、ベルトに負荷がかかっていますので、速やかに詰まりを取除いてください。

刈取りパターン

広い場所での芝刈り・草刈りは、右回りに1～2周した後、中心に向かって左回りに刈り作業を行います。



作業の仕方

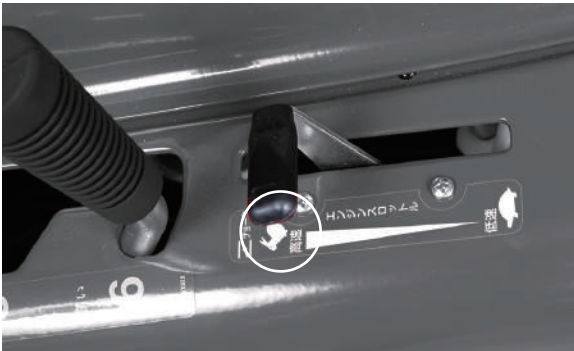
傾斜面での芝刈り・草刈り



10°を超える傾斜の坂の上で、芝や草を刈らないでください。また、10°以下でも起伏の多いところ、不安定なところでは使用しないでください。転倒の危険があります。

1 落下する可能性のある穴、わだち、岩、他の隠れた物体を確認します。岩や木の幹など、すべての障害物を取除くか避けてください。

2 エンジンスロットルレバーを「高速(うさぎマーク)」の位置に合わせます。



3 傾斜面では、走行変速レバーを1速にします。



4 傾斜面では、止まったり、スピードを変えたりしないでください。転倒の危険があります。

起伏の多いところでの芝・草刈り

1 起伏の多いところでの芝・草刈り作業は、ハンドルをしっかり握り、足元に十分注意して作業を行ってください。



転倒や落下に十分ご注意ください。

刈込み中に減速、停止したら

刈込み速度が速すぎて刈込みが追いつかない、異物や蔓の絡まり、集草袋の満杯が考えられます。

1 刈込み速度が速すぎると、処理が追いつかずに詰まりやすくなります。減速を感じたら、一旦バックし、回転が安定したらまた前進をすると解消する場合があります。

2 異物や蔓が絡まっていたら、エンジンを切り、異物や蔓を取除きます。

3 集草袋がいっぱいになっている可能性があります。こまめに捨てるようにしてください。

作業の仕方

芝・草の処理について

⚠️ 注意

濡れている芝・草、雨上がりの芝・草を刈ると、チューブ内や刈刃ハウジング内に芝・草が張り付き、詰まりやベルトの破損の原因になります。

- 1 集草袋に芝がいっぱいになる前にこまめに捨ててください。(HG-SK9950 のみ)

集草袋がいっぱいになってもそのまま作業を続けると、排出チューブ内に詰まり、チューブを取外さないと取除けなくなります。



- 2 集草袋レバーを下げることで、乗車しながら芝を排出することができるのでこまめに捨ててください。(HG-SK9950 のみ)



- 3 横排出の場合は勢いが落ちたり、音に変化があったらエンジンを停止し詰まりを確認してください。



作業の終了

- 1 エンジンを停止します。
- 2 刈高調整レバーの刈高を「6」にします。
- 3 詰まった芝・草はそのまま放置しないで必ず毎回取除いてください。次回運転時にベルト負荷がかかり破損したり、摩擦で発火し火災の原因になります。

⚠️ 警告

- 車両に堆積した草等はきれいに取除いてください。火災の原因になります。



- エンジンの空気吸入口に草などが堆積するとオーバーヒートや熱による車体の異常が発生する可能性があります。作業後には必ずエンジンの空気吸入口を点検し、草などが堆積している場合は取除いてください。



⚠️ 注意

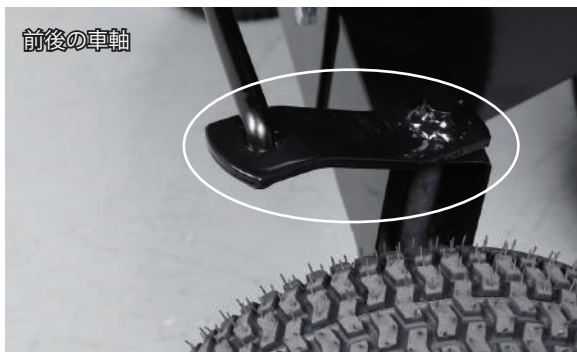
- 水洗いは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- プラスチック製部品やハンドルの清掃には、強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。
- アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。

作業の仕方

- 4** お手入れ後、回転部・可動部等に機械用グリスや潤滑剤を塗布します。



刈高調整金具



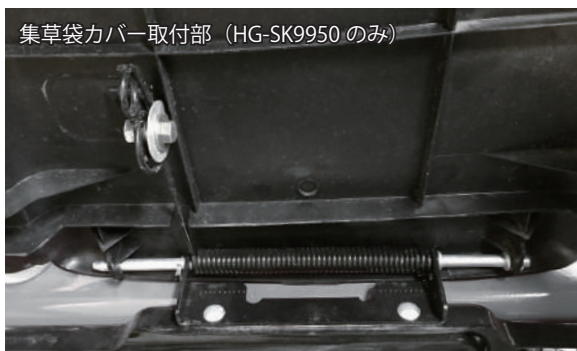
前後の車軸



タイロッド (ステアリング操作を車輪に伝達する棒)



走行変速レバー、クラッチレバー、刈高調整レバー、ブレーキ・クラッチレバーの可動部

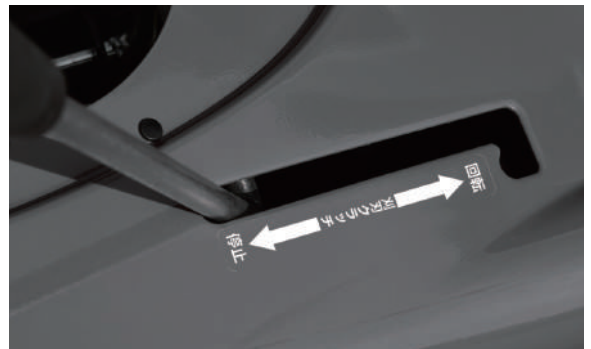


集草袋カバー取付部 (HG-SK9950 のみ)

- 5** ベルトの切れによる作業の中断を回避するため、作業後はベルトの点検を行ってください。(ベルトの点検方法は P.34 参照)

運搬、輸送について

移動をする際は、必ず刈高調整レバーを一番高く (6 段) し、刈刃クラッチレバーを「停止」にしてください。



警告

- 運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- 運搬する場合は、燃料漏れによる火災を防止するため、燃料タンク、キャブレターからガソリンを抜き取ってください。(P.30 参照)
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- 本機を吊っての積み込み、積降ろしは、フレームの変形や破損の原因、転落等で大変危険です。絶対に行わないでください。トラック等への積み込み・積み降ろしは、ラダーをご使用ください。
- 運搬は 2 人以上で行ってください。

注意

- 運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- 本体を水平になるように保持してください。
- バッテリ切れや故障などで自走できない場合は、ハンドルをしっかり握りゆっくり行ってください。

作業の仕方

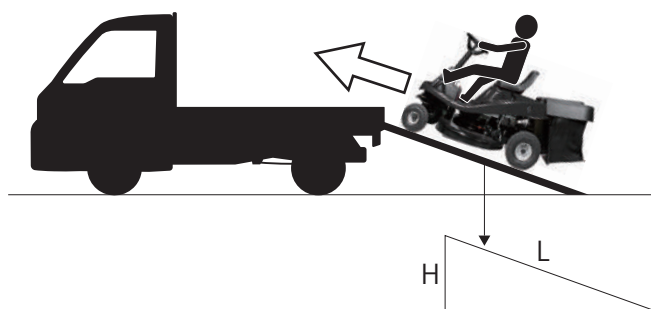
トラックへの積み込み・積み降ろし

本機の積み込み・積み降ろしは、平坦な場所で行ってください。

また、バッテリー残量が十分あることを確認してください。

1 トラック積載用ブリッジ(ラダー)は本機の重量+作業者の体重に耐えられる物を使用してください。

2 安全のため、ラダーの傾斜角度が15度以下になるようにします。



L: ラダーの長さ	2.5m	3.1m	3.5m
H: ラダーまでの高さ	50 cm	60 cm	70 cm

3 刈高調整レバーでブレードを高い位置に上げてください。

4 本機をゆっくり前進させ、ラダーから荷台に乗せます。

5 本機が荷台に乗ったら、走行変速レバーをN(ニュートラル)にし、電源スイッチを切り、キーを抜きます。

6 ブレーキ・クラッチペダルを踏み込みながら、パーキングブレーキレバーを引張り上げます。



警告

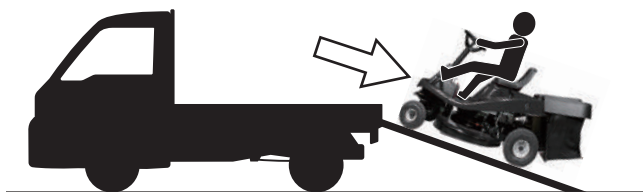
ラダーから踏み外したり、つまずいたりした場合、本機が作業者に覆いかぶさってくることがあり、大変危険です。十分ご注意ください。



注意

ラダーの途中で本機を停止させないでください。万が一停止した場合は、ハンドルをしっかり握り、ラダーから踏み外さないよう慎重にゆっくり降りて、平坦な場所で再スタートをしてください。

7 積み降ろしの場合は、本機を後進させ、荷台からラダーに移動しゆっくり降りて行きます。



点検・整備の仕方



警告

- ・作業場の清潔、安全を常に確保してください。足を引っかける一切の障害物を撤去してください。
- ・作業場には必ず清潔、安全を守ってください。ガラスや木材、燃料など燃えやすい物は必ず離して保管してください。
- ・点検整備をするときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・本体は水平な場所に設置し、作業を行ってください。
- ・作業は、十分な採光のもとで作業してください。
- ・排気ガスには十分に注意し、換気の良い場所で行ってください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヶ月後または 20時間運転後	3ヶ月毎または 50時間運転毎	6ヶ月毎または 100時間運転毎	1年毎または 300時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.20
エンジンオイル	オイル量	●					P.21
	交換		●	●			P.30
エアクリーナー	清掃			●			P.31
	交換					●	P.31
点火プラグ	清掃				●		P.32
	交換					●	P.32
刃・刃締付ナット	欠け、摩耗、破損、 緩み	●					P.32



警告

- ・燃料タンクキャップはしっかり閉めてください。ガソリンが漏れると引火の危険があります。
- ・こぼれたガソリンは布などで、直ちに拭取ってください。

燃料の抜き方

長期間使用しない場合は、必ず燃料を抜いてください。燃料は劣化します。

- 1** 燃料を入れる容器を準備します。
- 2** 燃料タンクのキャップを取外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。
- 3** 燃料を抜き終わったら、キャップをしっかり閉めてください。

エンジンオイルの交換

【エンジンオイルの交換】

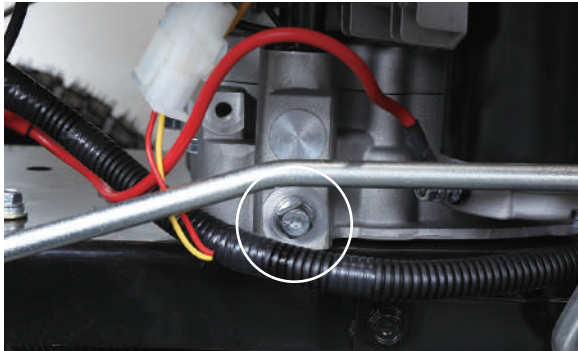
エンジンオイルは、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。市販のオイルチェンジャーでオイル給油口から抜くか、ドレンから抜きます。

- 1** 廃油受けを準備します。
- 2** 本機を水平な場所で水平な状態にし、本体の下に廃油受けを置きます。
- 3** オイル給油キャップを外すと抜けやすくなります。



点検・整備の仕方

- 4 オイル給油口下部にあるドレンボルトを 14mm のスパナかモンキーレンチで緩めると、オイルが排出されます。

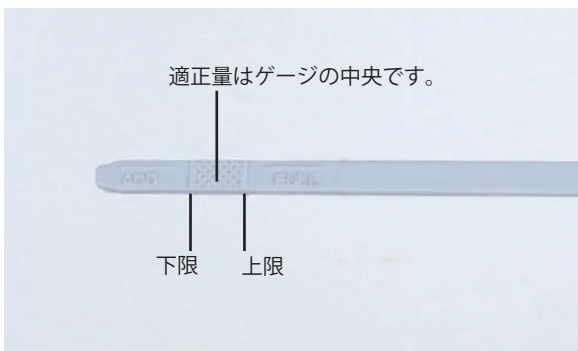


- 5 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。

- 6 市販のオイルジョッキを用意します。



- 7 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。



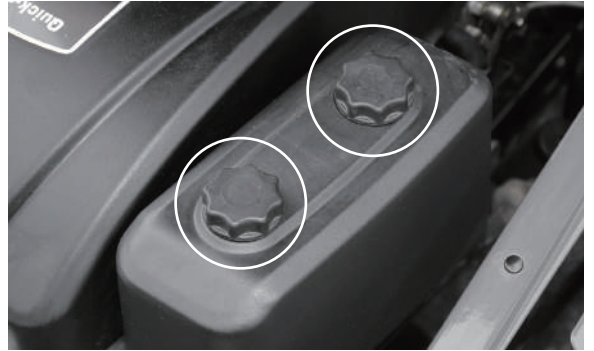
- 8 給油後は、確実にオイル給油キャップを閉めます。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約 1.2L

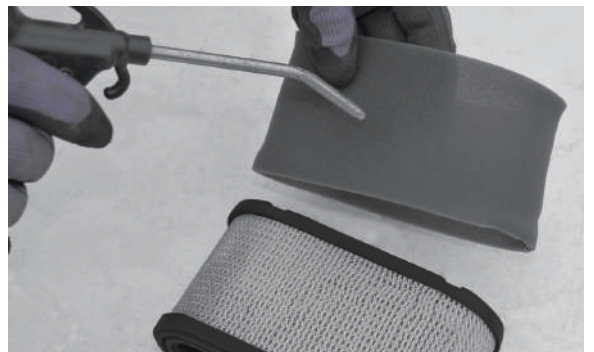
エアクリーナーの清掃

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃をします。汚れが取れない場合は交換をします。

- 1 エアクリーナーのノブを反時計回りに回しカバーを開け、エアフィルタを引き抜きます。



- 2 エアフィルタの汚れを、エアガン等で吹き飛ばします。



- 3 汚れが取れない場合は、新しいエアフィルタをご用意ください。



- 4 取付けは取外しと逆の手順で行います。

点検・整備の仕方

点火プラグの点検・整備

点火プラグを取外し、電極の点検・清掃を行います。
※エンジンが冷えている状態で行ってください。

交換時期	1年毎または300時間運転毎
適応点火プラグ	BKR5E(NGK)

■使用工具：プラグレンチ、ワイヤブラシ

1 シートサポートを開け、点火プラグキャップを持って引抜きます。※コードを持って引抜かないでください。

2 点火プラグを16mmのプラグレンチで取外します。(反時計回り)



3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



4 取外しと逆の手順で取付けます。※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとめてください。はめ込みがあまいと点火しません。

バーナイフの交換

バーナイフの交換を行います。

作業は、2名以上で行ってください。

エンジンは必ず切って行ってください。



警告

刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。



注意

バーナイフを含む交換時に必要な部品等は、メーカー純正品をご使用ください。
メーカー純正品以外の使用による故障・事故については保証の対象外となります。

■使用工具：22mm インパクトレンチ、トルクレンチ

1 走行変速レバーを「N」以外に入れます。

2 刈高調整レバーの刈高を「6」にします。

3 ブレーキ・クラッチペダルを踏みながらパーキングブレーキレバーを引っ張り上げます。(P.18参照)

4 本機を台に乗せます。動かないように必ず固定します。



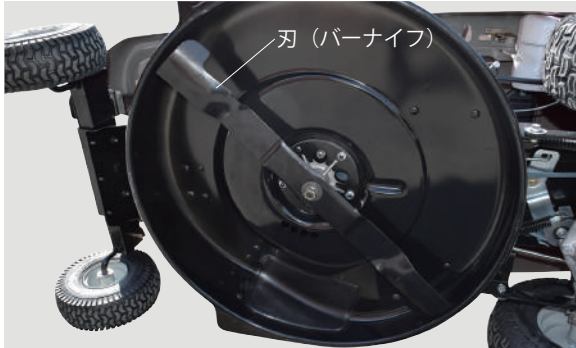
警告

- ・台はしっかりしたものを使用してください。
- ・脱輪しないよう十分ご注意ください。
- ・頭を本体下に入れないでください。
- ・1人で作業を行わないでください。
- ・バーナイフの取外し・取付の際、力がかかりますので、本体が動かないようもう1人の方が補助をしてください。

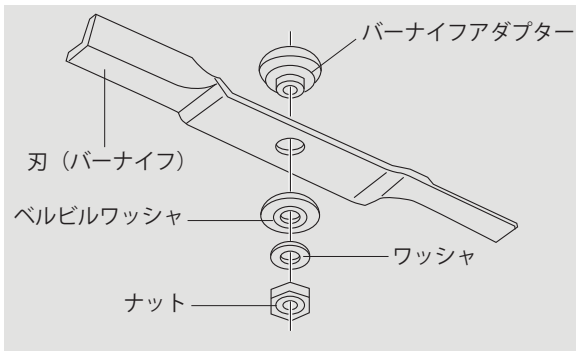


点検・整備の仕方

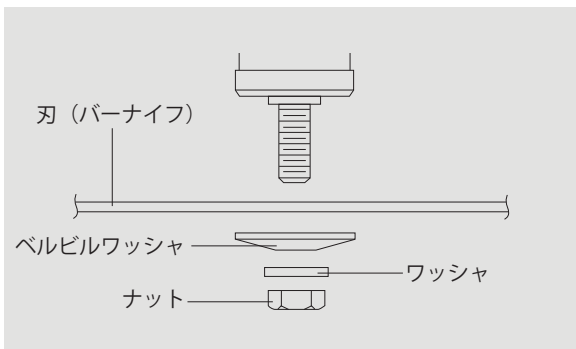
- 5** 22mm のインパクトレンチで反時計回りにナット、ワッシャ、ベルビルワッシャ、バーナイフを取外します。(写真はわかりやすくするため本体を横倒しにしていますが、横倒しにしないでください。)



- 6** 新しいバーナイフの端が高い方が上になるように取付けます。



- 7** ベルビルワッシャ(向きに注意)、ワッシャを通し、ナットを取付け、インパクトレンチで時計回りに締付けます。最後にトルクレンチで締付けます。(トルクは 41 ~ 65N・m)



警告

バーナイフの取付けが不十分だと、作業中に外れ飛び出し重大な事故の恐れがあります。取付けは確実に行ってください。

回転刃 (ハンマーナイフ) の交換

回転刃 (ハンマーナイフ) の交換を行います。

作業は、2 名以上で行ってください。

エンジンは必ず切って行ってください。

警告

刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

注意

回転刃 (ハンマーナイフ) を含む交換時に必要な部品等は、メーカー純正品をご使用ください。メーカー純正品以外の使用による故障・事故については保証の対象外となります。

■使用工具:22mm インパクトレンチ、トルクレンチ、15mm スパナ等

- 1** 走行変速レバーを「N」以外に入れます。
- 2** 刈高調整レバーの刈高を「6」にします。
- 3** ブレーキ・クラッチペダルを踏みながらパーキングブレーキレバーを引っ張り上げます。(P.18 参照)
- 4** 本機を台に乗せます。動かないように必ず固定します。

警告

- ・台はしっかりしたものを使用してください。
- ・脱輪しないよう十分ご注意ください。
- ・頭を本体下に入れないでください。
- ・1 人で作業を行わないでください。
- ・回転刃 (ハンマーナイフ) の取外し・取付の際、力がかかりますので、本体が動かないようにもう 1 人の方が補助をしてください。



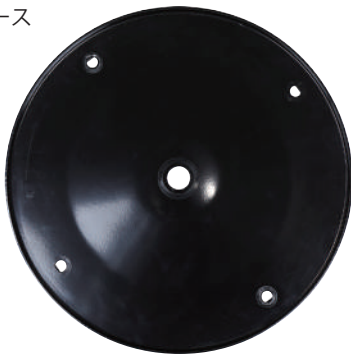
点検・整備の仕方

- 5** 22mm のインパクトレンチで反時計回りにナット、ワッシャ、ベルビルワッシャ、回転刃アッセンブリを取外します。



- 6** 15mm のスパナ等(インパクトレンチは使用しないでください。回転刃ベースの半月取付穴が広がり、使用できなくなる恐れがあります。)で回転刃ベースからフランジナット、ワッシャ、ボルトを取外します。

回転刃ベース



回転刃 (草刈り用)



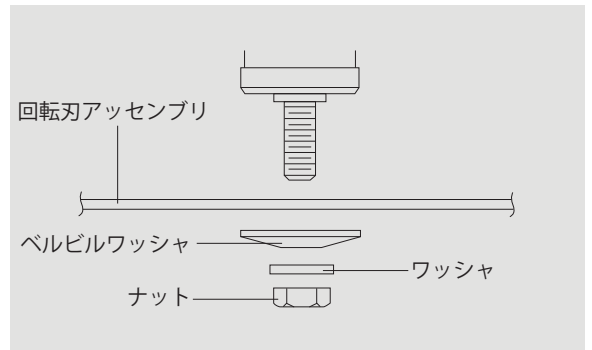
回転刃 (下刈り用)



フランジナット ワッシャ ボルト

- 7** 新しい回転刃を用意し、取外しと逆の手順で取付けます。(トルクは 41 ~ 65N・m)

- 8** 回転刃アッセンブリにした状態で取付けます。ベルビルワッシャ(向きに注意)、ワッシャを通し、ナットを取付け、インパクトレンチで時計回りに締付けます。最後にトルクレンチで締付けます。(トルクは 41 ~ 65N・m)



警告

回転刃 (ハンマーナイフ) の取付けが不十分だと、作業中に外れ飛び出し重大な事故の恐れがあります。取付けは確実に行ってください。

ベルトの点検

ベルトは消耗品です。切れによる作業の中断を回避するため、作業後はベルトの点検を行ってください。トラブルを未然に防ぐためには点検が有効です。

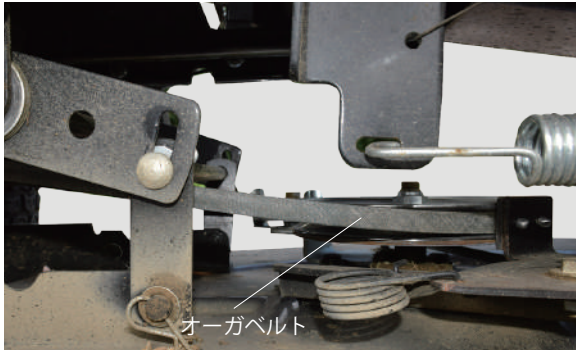
互換ベルト	走行ベルト	バンド製 W800-SA39
	オーガベルト	バンド製 W800-SA44

- 1** 走行 (駆動) ベルトに切れ、摩耗がないか確認し、不具合がある場合はベルトの交換を行います。(写真は切れかかっているベルト)



点検・整備の仕方

- 2** オーガベルトに切れ、摩耗がないか確認し、不具合がある場合はベルトの交換を行います。



- 3** オーガベルトのプーリー部分を揺らし、ガタツキがないか確認します。ガタツキがある場合は、軸とプーリーの接続部が摩耗し、空回り状態になっている可能性があります。この場合は、軸とプーリーの交換になります。



バッテリーについて

バッテリー液が適量であっても、エンジンがかからなかったり、セルスターターを回しても弱く感じたら、バッテリーの放電が考えられます。補充電を行ってください。

警告

- バッテリーは、取扱を誤ると重大な事故の原因になります。正しくご使用ください。
- バッテリーを取扱う際は、ショートや火花、火気にご注意ください。
- バッテリーからは可燃性の水素ガスが発生しています。火気を近づけないでください。爆発の恐れがあります。
- 静電気による引火爆発にご注意ください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付かないよう十分ご注意ください。万が一目に入った場合は、多量の清水で洗眼し、速やかに医師にご相談ください。皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流し、石鹼で十分洗ってください。

- 1** バッテリーはシートサポートを開けると奥にあります。

- 2** バッテリーの「-」端子からケーブルを取外します。

- 3** バッテリーの「+」端子からケーブルを取外します。

- 4** バッテリー取付金具を緩め、バッテリーを水平に保ちながらバッテリーを取外します。

- 5** バッテリーは重量物です。落とさないよう慎重に取外します。

- 6** 市販の充電器で、補充電を行ってください。充電の仕方の詳細は、充電器の取扱説明書をご覧ください。

注意

急速充電は行わないでください。急速充電をすると急速に放電します。

- 7** 充電が完了したら、バッテリーを取付け、「+」ケーブル端子をバッテリーの「+」端子に取付けます。

- 8** 「-」ケーブル端子をバッテリーの-端子に取付けます。

- 9** エンジンを始動し、かかり具合を確認します。

注意

補充電をしても性能が回復しない場合は、バッテリーの寿命が考えられます。その場合は交換となります。
互換性バッテリー：30A19R

長期間使用しないとき

本機を長期に渡り使用しないときは、次のお手入れを行ってください。

- 1** 保管するときは、平坦で堅い地面に水平に置きタイヤ止めをしてください。
- 2** 燃料タンクの燃料を抜きます。
- 3** エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 4** 各部のよごれを落とし、水分が残らないよう、きれいに清掃します。
- 5** 各部のボルト類の破損、腐食、緩みを点検します。
- 6** 防錆、潤滑油を塗布します。
- 7** 点火プラグキャップを取外します。
- 8** バッテリーの配線を取外します。
- 9** 本体にカバーをかけ、湿気の少ない換気の良い場所に保管してください。野ざらしにしないでください。

困ったときの対処法

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない ※火花の確認方法は、	安全リミットスイッチの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.32 参照)
	点火プラグ・キャップ接続不良	確実に接続
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.20 参照)
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆び又は、異物混入による詰まり	交換
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレターの詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
エンジンがかからない	オイルの入れすぎ	オイル交換 (P.30 参照)
	オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換 (P.30 参照)
	シートに浅く腰掛けていて安全装置が反応しない	深く腰掛ける

●エンジンはかかるが、すぐ停止したり、停止しそうになる

症状	原因	対処
エンジンはかかるが止まる、止まりそうになる	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.31 参照)
	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
白煙が出る	オイルの入れすぎ	オイルを抜く (P.30 参照)
	本体を横倒しにしたためオイルがエンジンに入り込んでいる	エンジンをしばらくかけると白煙が出なくなる
走行しない	走行 (駆動) ベルトの切れ、摩耗	交換 (P.34 参照)

●うまく刈取りができない

症状	原因	対処
芝・草が放出されない	刈刃ハウジング内、排出口が詰まっている	詰まりを取除く
	刃に異物や蔓が絡まっている	異物や蔓を取除く
	刃先が極端に摩耗している	新品の刃に交換
芝・草が刈れない	刈高が合っていない	適切な高さに調整
	集草袋が目詰まり、いっぱいになっている	清掃
	芝・草が濡れている	芝・草が乾いているときに作業
刃が回転しない	オーガベルトの切れ、摩耗	交換 (P.34 参照)
刃が回転すると異音	オーガプーリーの破損	交換 (P.34 参照)

●過度の振動

症状	原因	対処
本体が振動する	ブレードのバランスがとれていない	付け直し、解決しない場合はブレードの交換
	ブレードの割れ・曲がり・摩耗など	ブレードの交換
	刃取付ナットが緩んでいる	ナットを確実に締めなおす

消耗品・部品一覧

商品名	商品コード	
フロントタイヤ (12 インチ ノーパンクタイヤ)	ys-sk9950knp001	
リアタイヤ (15 インチ チューブレスタイヤ)	ys-sk9950knp002	
集草袋 (袋のみ)	hg-esn-p046n	
走行 (駆動) ベルト	9950p37x110n	
オーガベルト	9950p37x111n	
バーナイフ	1401079n	
ブレード固定用ナット・ワッシャ	59-61n	
回転刃アッセンブリ	hg-sk9950knp002	
回転刃ベース	hg-sk9950knp003	
回転刃 (草刈り用) 2 枚セット	hg-sk9950knp004	
回転刃 (下刈り用) 2 枚セット	hg-sk9950knp005	
回転刃用固定ボルトナットワッシャー 2 個セット	hg-sk9950knp006	
エアフィルタ	ys-sk9950knp003	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。
 ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品・部品をご注文の場合は、下記各サイトよりご注文ください。



本店サイト
<https://www.haigeshop.net/>



楽天サイト
<https://www.rakuten.co.jp/haige/>



ヤフーサイト
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/haige/>

※電話や FAX でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
 ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能的影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺いし、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガーまたは販売・修理店

②受付
③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

ハイガー

③受付
④故障内容の確認
⑥お見積り了承
⑦故障装置の修理

⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をメールでご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

②受付 ③故障内容の確認 ④故障装置の修理
^{*1}お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
^{*2}販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
^{*3}販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- | | | |
|--------|------------|-------|
| ①ご注文番号 | ④故障の状況 | ⑦ご住所 |
| ②商品名 | ⑤購入サイト、年月日 | ⑧電話番号 |
| ③商品の型番 | ⑥お名前 | |

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガーは、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書は、製品製造時の最新版を同梱していますが、内容は随時改訂していますので、最新版は以下のサイトよりご確認ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

HAIGE

〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



年中無休受付

※年末年始等除く



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>

